

## 学校通信



# 喜多見



No. 3 令和7年6月30日

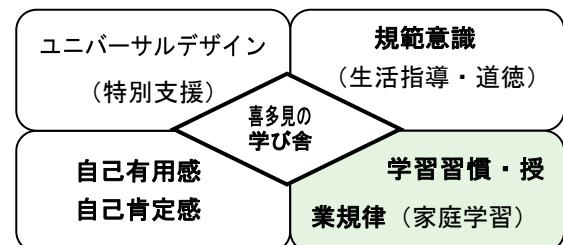
喜多見の学び舎  
世田谷区立喜多見中学校  
校長 紺谷 祥一

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見4丁目20番1号 TEL 03-3417-4971(代)  
E-mail: dai131@setagaya.ed.jp <http://school.setagaya.ed.jp/tkitami/>

1年生: 13分 2年生: 28分 3年生: 19分 校長 紺谷 祥一

上の数字は、6月16日（月）から20日（金）の各授業（全29コマ）中に生徒に対して課せられた家庭学習に要する時間を、1日当たりの平均にしたものです。例えば、17日（火）に3年A組では、理科10分、英語10分、保育25分程度でやり遂げることのできる課題（計45分）が各担当教員から伝達されました。しかし、翌18日（水）に課せられたのは国語のみ。内容は10分程度でできる漢字の課題1つでした。教科ごとに専任の教員が教える中学校では、自分以外の教師が当該学級の生徒にどの程度「宿題」を出しているかについて、ほとんど把握していません。私も、かつて英語を教えていた際にたくさん課題を出すと、『え～、さっき数学でいっぱい出たんですよー』などと生徒に訴えられて、少し手控えたりした経験があります。一方、小学校では基本的に担任の先生が全教科を担うことから、バランスを保って家庭学習に取り組めるよう配慮したりします。喜多見小学校もそうであるように、多くの小学校では基本的に「計算ドリル」・「漢字」・「音読」は必須。毎日欠かさず課せられるルーティンワークとしての宿題があります。この一定の習慣を身に付けた上で、中学校では自分で自分の学習を調整する姿が求められています。さて、どの学年の生徒もわずかな時間でできる宿題を足掛かりにして、しっかりと自分で家庭学習を進めることができているでしょうか。学習内容の定着には、家庭学習が欠かせません。今号では、その方法について話題にしたいと思います。

6月18日（水）は「学び舎の日」として、本校の教員は午後に喜多見小学校へ移動して一小一中のメリットを活かした合同研修会を実施しました。4つの分科会に分かれ、それぞれの課題についてその解決に向けた一貫性や合理性のある方策を模索します。私は「学習習慣・授業規律」の分科会に参加したのですが、小学校でも発達の段階で「自分の学習について調整できる力」に大きなつながりが生じている様子。席上では、特に自分の学習状況を客観的に捉えられる力（メタ認知）や授業での「振り返りの時間」の充実などが話題の中心となりました。



ここ数年、「内容知」と「方法知」という言葉を教育業界ではよく耳目にします。用語、人名、公式など、いわゆる知識そのものを指す「内容知」に対し、学び方を学ぶ能力 — その知識をどう覚えるか、どう使うかのテクニックを「方法知」と捉えます。家庭学習においても、「内容知」だけを追うことなく、「方法知」を意識することで大きな効果が期待できます。内容知を使って、考えたり、問題を繰り返し解いたり、あるいは人に説明したりするなど、自分に合った学習の仕方を駆使（「方法知」）して、知識を定着させることが肝要です。今回の期末考査1年生の英語で、sometimes という単語の入った語順整序問題（並べ替え）がありました。sometimes を「時々」という意味の単語であることは「内容知」として分かっていても、I take sometimes pictures of animals. と解答してしまっている生徒が散見されました。『sometimes は原則、一般動詞の前か be 動詞の後』と理屈で覚えもいいのですが、設問は教科書の本文と同じ文でしたから、何度も声に出して身に付けた生徒はまず上記の英文に違和感を覚えるでしょう。（家庭での教科書の音読＆暗唱を私は強くお勧めします！）



6/18 「学び舎の日」 於：喜多見小

「学び舎の日」で話題となった、「振り返り」も学習内容の定着には非常に有効な手段です。家庭学習において、その日「何を学習してどんなことが分かったのか」、また、逆に「分からなかったことや疑問に思ったことは何か」といった、「学習内容に関するこ（=内容知）」を整理します。また、「調べた方法」、「話し合いの過程」、「自分との考え方の相違」等、「学び方に関するこ（=方法知）」を振り返ることで、メタ認知が高まり、知の統合が図られます。このサイクルが、次の学びへの意欲につながり、自ら学ぶ力が育つと考えます。期末考査が終わった今、自分で自分の学びを振り返る習慣を身に付け、そして、自分に合った「学習の仕方」をしっかりと獲得してほしいと思います。

# 各学年およびE組の生徒たちの活動の様子をお伝えします

## 1年生の様子から（加瀬義行）

1年生は河口湖移動教室に向けての取組を行いました。事前の学習は中間考査前から始め、約30種類あるテーマの中から各自が調べたい内容を選び、調べた結果をレポートにまとめました。

### 「成長した集団」 ～みんなでつくりあげた～

まとめたものは、1年生教室前廊下に掲示してあります。中間考査後は、係ごとの取組などを行い本番に向けての準備をしました。本番初日は、富士山レーダードーム館や富士湧水の里水族館の見学を行いました。学園到着後は全員でキーホルダーフクリを行いました。完成した作品は学習成果発表会で展示する予定です。翌日はあいにくの雨で、ハイキングは中止となり室内施設の見学となりました。学園に帰った後は、うどんづくりやレクリエーションで楽しみました。最終日の酪農体験では、貴重な体験を通して命の大切さを知ることができました。帰校後は事後学習として、学習係が撮影した写真を使って、フォトコンテストを行う予定で現在活動しているところです。

## 2年生の様子から（中溝亜矢実）

大人ってカッコイイ

2年生は9月の職業体験に向けての学習が始まっています。6月には外部から講師をお招きして、「社会人のお話を聞く会（Catch Your Dream）」と「マナー講座」がありました。「社会人のお話を聞く会（Catch Your Dream）」では、実際に仕事をされている大人の方13名に講師として来ていただき、多様な「働き方」や「実際の仕事」「その仕事を選択した道のり」などを、6人1グループのインタビュー形式で聞きました。それを「自分計画・これからの自分年表」にまとめ、自分の将来を思い描く良い機会とすることことができました。

ある生徒からの「今回話を聞いて、大人ってカッコイイと思いました。私も今日話してくれた方々を超えるカッコイイ大人になれるよう頑張ります。」というお礼の挨拶が印象的でした。「マナー講座」では、昨年まで本校で英語を担当していた元客室乗務員の田部先生に職場体験で使える立ち居振る舞い、正しい言葉づかい、印象の良い電話対応を実際にペア活動をしながら学びました。7月からは体験先の職場を決め、事業所に電話連絡をしたり、履歴書を書いたりと本格的に取り組んでいきます。『職場体験』ではこれまでの学びをいかし、自分の行く道について考える良い機会となればと思っています。

## 3年生の様子から（下出和幸）

6月に入り、3年生の教室では、日ごとに学習に対する意識の高まりが少しずつですが感じられるようになってきました。期末考査が近づく中、授業中や休み時間、放課後に「ここがわからないので教えてください」や「この問題の解き方を教えてください」といったことを、先生に質問する姿が増えてきました。わからないことをそのままにせず、一人ひとりが「わかるまでやる」という姿勢で取り組むようになってきています。休み時間に友達同士で問題を出し合ったり、先生に類題をお願いしたりするなど、それぞれが工夫して学習に取り組むようすがみられ、受験生としての自覚が少しずつ育ってきていることを感じています。

また、最近では生徒の口から具体的な進路希望が聞かれるようになってきました。「〇〇高校に行きたいです」「△△学校に興味があります」と、自分の将来について少しずつ言葉にできるようになってきたことは、大きな成長です。夏休みには三者面談もはじまり、自分の進路をより具体的に考えていく時期になります。悩んだり迷ったりすることもあると思いますが、そうした経験もまた成長につながります。自分の思いに正直に向き合い、後悔のない選択ができるよう、私たちも全力で支えて行きたいと思っています。

少しずつ…

## E組の様子から（番場智幸）

1学期期末テストのこと、私は、必ず授業にて「平均点と比べないで！」と伝えるようにしています。比較対象は他者ではなく過去の自分。成長することは他者を介して実感するものではないと思っています。そのマインドはこれからも伝えていきます。以下各学年のテストに向けて取り組む姿勢の変容です。

3年生は開門と同時に登校し、英語のリスニングや提出物など取り組んでいる姿があります。さらに、計画を立てる中で、苦手な教科と得意な教科の取り組む時間の配分を考えるなど戦略を立て、改善しながら学んでいます。進路を意識し、自ら工夫する姿とてもたくましく思います。

2年生は、学年が上がり2年生としての自覚が出てきました。スイッチが入ったときの授業での雰囲気や、課題や提出物などに自主的に取り組む生徒が多く見られ、1年生のときよりも成長した姿を肌で感じています。

1年生は河口湖移動教室など大きな行事があった中、初めての9科目を実施する期末考査でした。慌ただしい日程とその科目数の多さに、何から取り組めばよいか分からず落ち着かないこともありましたが各教科の先生に積極的に相談し解決していく姿が見られ、少しずつですが学びに向かい頑張っている様子が見られます。

どの学年の子どもたちも、着実に4月の姿よりも成長しています。今後も生徒と共に学びながらその成長の幅を広げ、さらに深めていきます。

生徒と共に



今月号の「わたしのきたみち」は、この春に卒業したばかりの加賀谷●●さんです。齋藤先生のクラスだった加賀谷先輩は、吹奏楽部の部長としてよくメンバーをまとめながら素晴らしい音楽性を発揮していました。充実した高校生活を送っている模様ですね！

こんにちは！桜町高校1年生の加賀谷です。高校の実態をお話しようと思います。

高校生活といえばキラキラで毎日楽しいイメージがありますよね！私が通っている桜町高校はまさにその理想通りで、先生が放課後でも勉強を見てくれたり、行事も盛り上がる楽しいものばかりです。先月の体育祭も全学年が思いっきり楽しんでいました！

ですが楽しいことだけではないとも感じています。例えば勉強です。桜町高校は授業に多く欠席したり、成績表で1を2回とったりすると留年や退学になってしまいます。なので日頃からしっかり勉強しておく必要があります。また、義務教育が終わり、責任を伴うことが増え、基本的に自己責任になります。そのため、授業にいなくても先生が生徒を探したりしなくなります。

それをいい事にたくさん欠席すると気がついたら退学になってしまふことも…。

ですから、みなさんも中学校のうちからしっかり勉強したり、考えたりしながら行動するよう意識して、学校生活を楽しみましょう！

3年生の皆さんには受験で成績を気にするようになってきましたと思います。スムーズに受験できるように、「勉強」と「責任」の2つを意識してみてください！



## わたしの授業

今月は中溝 亜矢実先生（2年副担任、英語科、バドミントン部顧問、本校1年目）の授業紹介です。中高生時代は吹奏楽、大学時代にはオーストラリアへの留学経験もあるとか。大らかで明るく、いつも優しい眼差しをもって生徒とコミュニケーションをとる姿が印象的です！



「私はずっと日本にいるから英語ができなくても大丈夫。」生徒からこんな声を聞くことがあります。実際、日本で生活をしていると英語がなくても生活はできます。しかし、英語をコミュニケーションの道具の1つとして考え、「相手に自分の考えを伝える力」「相手の考えを理解する力」を身につけてほしいと考えています。

そのために、毎回の授業では「聞く」「読む」「話す（やりとり）（発表）」「書く」の4つの技能が鍛えられる内容となるよう意識しています。習ったことを、場面を想定して聞いてみる、書いてみる、そして仲間と話してみる。実際に英語を使う場面では、何よりも自分の意思を伝えたい！相手の要望を理解したい！という思いの方が大切だということを自分自身も社会に出て実感しました。学校だからこそできる、みんなで学べる、共有できる利点を大いにいかせる授業にしたいと考えています。

また、学校外でも英語を使ってみる時間が大切と伝えています。その1つの方法として、自学ノート（通称SSノート）を毎回の宿題としています。ルールはありますが、内容は授業のまとめ、英検対策など自分の学びに合ったものがある程度自由に書いてきてもらいます。英語がなくても生活できるからこそ、1日に1回、お家でも英語と向き合う時間を作ってほしいという願いを込めています。

先日、英語ができないともいいと言っていた生徒と再会した際に、「アメリカに赴任が決まりました。楽しみです。」と嬉しい報告をしてくれました。いつか人生で英語が必要になったとき、英語が嫌いだからという理由で、諦めることがないように、英語を妨げではなく人生を豊かにするアイテムと考えられるよう、たくさんのことを取り上げてほしいと思い、授業をしています。

## 正門に電子錠が付くことになりました！

安全

不審者や部外者の侵入を防ぎ、生徒の安全を守る目的から、正門横の通用門に電子錠が取り付けられることとなりました。また、便器の洋式化も併せて進めていただけることとなっています。さらに体育館棟のトイレ改修も同時に進めてまいります。工期は夏休みから秋までの予定。10月下旬にはすべて完成の予定です。

完成後には、特に入校の際にご不便をかけるかもしれません。工期期間中の作業を含め、保護者ならびに地域の皆様には引き続きご理解とご協力をお願いします。

## 熱中症予防等について（確認）

熱中症や脱水症が非常に心配な季節です。学校でも予防について声かけをしていますが、各ご家庭でも以下の点について再度ご確認を願います。

- 大きめの水筒をもたせてください。
- 水筒の中身は、スポーツドリンクを奨励しています。（運動の前に飲みましょう！）
- 登下校時や屋外で活動がある際は、積極的に帽子を使用させてください。
- 更衣室を用意しています。必要に応じて着替えも持たせてください。
- 水泳時のラッシュガードも申請不要で着用可です。



# 行ってきました、河口湖 1年生移動教室 6月9日から11日（2泊3日） 担当：三津間



1年生は、富士山の麓に位置する河口湖周辺で移動教室を実施しました。普段の学校生活では味わうことのできない大自然の中で、生徒たちにとって貴重な体験となったことだと思います。また、班活動においては、意見の違いや上手くいかない場面もありましたが、お互いによく話し合い、協力しながら乗り越える姿が印象的でした。一方で、話を聞く際の姿勢については今後の一番の課題です。けじめがつけられるよう、応援します。

今回の移動教室を通じて、生徒たちは自然の美しさを感じるとともに、予期しない状況に柔軟に対応する力や、仲間と協力する大切さを学べたように思えます。この貴重な経験を活かして、生徒たちが今後もますます成長していくことを楽しみにしています。当日のお弁当の準備等、保護者の皆様のご協力にも感謝します。

## 第1回 多様な学びを考える保護者の会

不登校生徒等の保護者を対象とした勉強会を今年度も各学期に開催します。また、今年度も喜多見小学校との共同開催です。毎回、多彩なゲストを講師として招き有意義な時間となるよう努めます。ご参会、お待ちしています。

日時：7月14日（月）17時00分から

会場：喜多見中学校 2階被服室

講師：内田 良子 先生 18:30終了予定です。ぜひ、ご参会ください！



1973年から27年間、都内の病院の小児科で心理室に勤務。同じ年から都内の複数保健所でも相談員を務める。98年、子ども相談室「モモの部屋」を開き、不登校やひきこもりなどの相談会を開く。近著に『不登校』『ひきこもり』の子どもが一歩を踏みだすとき（ジャパンマシニスト社）。※東京新聞記事から引用 **強くオススメします！**

租税教室のご案内  
世田谷税務署から講師を招き、税の種類や仕組み、その特徴にも触れながら「税」が私たちの生活にどのように関わっているのかを理解し、なぜ色々な税があるのかを学びます。

日時：令和7年7月9日（水）  
10:50～11:40（対象：3A, B, E）  
11:50～12:40（対象：3C, D）  
会場：格技室 **ご来場ください！**

## 7月の予定から

- 7月 3日（木）高校の先生による出前授業（3年生⑤⑥）  
4日（金）**進路説明会⑤ 単P研修会⑥** **※ご来校ください！**  
9日（水）租税教室（3ABE③ 3CD④）  
14日（月）生徒会朝礼  
『多様な学びを考える保護者の会』（17:00～18:30）  
18日（金）1学期終業式（給食なし）  
22日（火）三者面談・補習教室開始（～28日まで）

### 7月4日（金）進路説明会・単P研修会について @体育馆

【進路説明会】13時50分から14時20分まで

- ・入試制度（形態や推薦制度の説明、今後の日程等について）
- ・令和6年度卒業生の進路、質疑応答など

【単P研修会】14時30分から15時40分まで **すぐる配信済み**

◎親子でのぞむ「高校受験ナビ」～都立私立塾の先生に聞く納得の高校選びと家庭の関わり方～

- ・都立柏江高校（細野校長先生）
- ・日本大学櫻丘高校（石原先生）
- ・早稲田アカデミー（相澤先生）

**激しくオススメします！**

## 7月の相談室の開室日

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1 □	2	3 ○	4	5
6	7	8 □	9	10 ○	11	12
13	14	15 □	16	17 ○	18 式	19
20	21 海の日	22	23	24 ○	25	26
27	28	29	30	31	1	2

【担当SC】□：渡邊 ○：高瀬

【場所】相談室は中央校舎1階 保健室の隣です

相談室直通ダイヤル  
03-3417-5372